

第4章 雇用創出に向けた総合的な取組

第3章に掲げた将来ビジョンを実現するためにも、まずは現下の厳しい経済情勢への迅速な対応が求められています。

なかでも、県民の生活基盤を確保し、人口流出に歯止めをかけるため、雇用の場を確保・創出していくことが喫緊の課題です。

そのためには、前例にとらわれることなく将来の発展につながる施策を中心に、考え得るあらゆる対策を切れ目なく進めていく必要があります。

こうしたことから、各戦略に先立つ取組として「雇用創出に向けた総合的な取組」を重点的に推進します。

現状と課題

我が国の経済・雇用情勢

我が国の経済は、企業の生産や輸出について持ち直しの動きが見られるものの、失業率は高水準にあるなど、雇用環境に改善の兆しが見えておりません。

雇用の回復は、企業業績の向上よりもタイムラグがあり、企業の求人が回復し、雇用環境が改善するためには、なお時間を要するとみられます。

本県の抱える課題

県内経済は、製造業で持ち直しの動きが見られるものの、総じて厳しい状況が続いています。有効求人倍率も一時期より改善されていますが、依然低い水準で推移しています。

また、今春の新規高卒者の県内就職状況については、例年に比べ、厳しい状況にあります。

このため、緊急的な雇用対策をさらに強化し、新たな雇用の創出や研修事業による人材育成を強化するとともに、新産業・新事業の創出などにより、県民が将来に希望をもてるような安定した雇用の確保に努める必要があります。

この取組の目指すところ

現下の厳しい雇用状況を踏まえ、緊急的な対策として、雇用対策基金を活用した雇用の創出や高校生など若者の就業支援の強化に努めます。

また、新たな雇用の受け皿づくりとして、これまでの地場産業の振興や企業誘致の促進に加え、新エネルギー関連産業の創出、本県農業の特徴を活かした食品産業の新たな展開、東アジアを視野に入れた環境・リサイクル産業の振興など、新たな視点からの産業振興策に力を入れ、新規雇用を創出します。

さらに、農業、福祉・介護など、各分野における多様なニーズに対応した人材を育成し、新たな雇用に結び付けます。

取組の内容

取組1：緊急的な雇用対策

主な取組

安定した雇用の場を確保するとともに、高校生を中心とした若者の県外流出を出来るだけ食い止めるため、求人の掘り起こしに努めるほか、雇用のセーフティネットの構築、マッチング機会の拡大など、緊急的な雇用対策を強化します。

雇用対策基金を活用した雇用の場の創出とそれを継続雇用につなげる取組
小規模事業者も含めた県内企業への求人要請
雇用のセーフティネットとしての職業訓練への誘導
県内企業とのマッチングの拡大
トライアル雇用事業や実習型雇用支援事業の活用促進

取組2：新たなリーディング産業の創出

主な取組

世界的な環境問題や食料需給動向などを見据えながら、新エネルギー関連産業の創出、本県農産物を活かす食品産業の新たな展開、東アジアにおける環境・リサイクル産業の拠点化を進めるほか、輸送機械、医療機器関連産業の育成など、新たなリーディング産業を育成し雇用の拡大を図ります。

スマートグリッド導入の促進と関連産業創出のための支援
風力発電、燃料電池等の新エネルギー関連部品製造企業への支援
県北部エコタウン事業成果の全県域への波及・拡大
県産食品のブランド化の推進と多様な販売チャネルの確保による販路拡大
「あきた農商工応援ファンド」の活用による新商品開発等の促進
輸送機械、医療機器関連産業の育成

取組3：地域における中核企業の育成

主な取組

本県経済をリードし、雇用の受け皿としても大きな役割りを担えるような中核企業を育成します。

地域経済をリードする中核的企業の育成のための総合的な支援
中核企業の担い手となるトップリーダーの育成

取組4：競争力のある企業の誘致等による産業集積の拡大

主な取組

秋田の強みを活かした競争力のある企業の誘致を推進するとともに、関連企業の立地を促進し、産業集積の拡大による雇用の増加を図ります。

次世代自動車や新エネルギーなど成長が見込まれる分野の企業誘致の推進
大型誘致案件等にも対応できる大規模工業団地の整備
既存工業団地のインフラ整備の推進

取組5：多様なニュービジネスの展開と創業サポート

主 な 取 組

若者の自由な発想力、外からの投資呼び込み手法などによりスポーツ、エンターテインメント等のニュービジネスの可能性について検討します。

また、今後成長が期待されるサービス分野などにおける起業支援など新たなビジネス展開をサポートします

さらに、起業を目指す人のやる気を引き出し、大胆で独創的なアイデアによる創業を促進するとともに、事業展開を経営面、技術面等から支援します。

スポーツ、エンターテインメント等のニュービジネス展開の可能性の検討

「少子高齢化、健康・福祉、環境」などをキーワードとした新たなサービス業のビジネス化支援

ビジネス教育やインターンシップ、成功事例セミナー等による、学生や若年層の起業家意識の醸成

起業家育成を含めた総合的な創業支援対策の強化

取組6：新たな農林水産ビジネスの展開と雇用就農の促進

主な取組

食品加工業や観光業などとの連携・融合による一次製品の加工・販売などへの取組を新たな農林水産ビジネスとして展開するとともに、農外も含めた多様な人材の農林水産業への定着を進めるため、各種研修制度の充実を図ります。

農畜産物の販売や加工、観光資源としての活用など、農林水産業と食品産業や観光業などが融合した新たなビジネス展開の促進

離職者や非正規雇用者等を対象とする農業法人等での雇用研修の実施

農業法人等で雇用を継続しながら行われる就農トレーニング用施設等の整備支援

新規や若年の参入者などを対象とした森林施業や路網整備、機械操作などの研修の実施

森林整備の計画的な推進による常時雇用の確保

取組7：福祉・介護等各分野における人材の育成

主な取組

高齢化の進行により、医療や福祉・介護サービスへの需要の拡大が見込まれることから、医療、福祉・介護分野における人材の確保・育成に向けた取組を推進します。

医師をはじめとする医療従事者の確保・育成対策の充実

介護福祉士やホームヘルパーなどの福祉・介護人材育成対策の推進

取組8：産業人材の育成

主な取組

県内産業を支える人材を育成するため、企業が求める技能・技術に関する多様化・高度化したニーズに対応した職業訓練を実施します。

新事業・新産業の創出に必要な企業の技術力や研究開発力を強化するための人材育成に取り組みます。

高等教育機関においては、各校が教育研究機能を高め、それぞれの特色を生かして、本県の産業振興に寄与できる技術系人材を育成するほか、他の教育機関と連携して、小、中、高校の児童・生徒を対象とした、科学技術の次代を担う人材の育成に取り組みます。

また、確かな職業観・勤労観の醸成を図るため、早い段階からのキャリア教育を実施します。

県立技術専門校での新規学卒者に対する職業訓練

公設試験研究機関による企業人材の育成

次代を担う科学技術系人材の育成

学校と地元企業等が連携したインターンシップ等、キャリア教育の選択肢の拡充

高校生のスキルアップを支える資格取得支援

「環境ものづくり人材育成事業」による小学校段階からの環境を意識したものづくり人材の育成

工業高校と周辺の企業が連携した地域企業ネットワーク協議会の形成

ものづくり教育の支援

高等学校におけるキャリアアドバイザーの配置によるキャリア教育の推進